

## ■高校野球のケーススタディー（第20回）■



一般財団法人兵庫県高等学校野球連盟

高校野球における公式試合や練習試合の中で生じたプレイの中で、“こんなプレイ、ルールではどうなるの？”といった疑問について、ルールの側面から解説します。

### ○ 打球がグラブの網目にはさまってしまいました・・・さてどうする？

選手権兵庫大会の1回戦で実際に起きた事例です。

1死走者なし。打者が放った打球は、投手へ強い当たりのゴロとなりました。投手は、素早い反応で打球を捕球し、1塁へ送球しようとしていました。

ところが・・・ボールがグラブのウェブ（網）にはさまり、ボールが取り出せません。その間に打者走者が1塁に到達し、セーフとなりました。

さて、この場面、投手はどうすればよかったのでしょうか。打者走者をアウトにする方法はあるのでしょうか。

それでは、ルールの側面から考えてみましょう。

「打球」がグラブにはさまった場合も、インプレイの状態が続きます。これは、「送球」がグラブにはさまった場合も同様です。

野手が、グラブにボールがはさまったまま、そのグラブごと他の野手に投げることは、正規のプレイとされています。ボールがはさまったグラブを受け取った野手は、規則通りにボールを保持したものとみなされます。

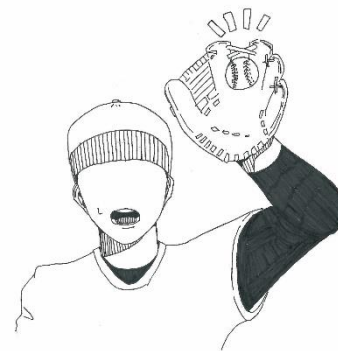
したがって、このケースでグラブからボールを取り出すことができなかった投手は、グラブごと1塁手へ投げればよかったのです。強い当たりの打球でしたので、アウトにできる確率は高かったと思われます。

公認野球規則【定義 15】において、

「キャッチ（捕球）」とは、「野手が、インフライトの打球、投球または送球を、手またはグラブでしっかりと受け止め、かつそれを確実につかむ行為」となっています。

以前は、グラブにボールがはさまったままでは、「インフライトの送球」を受け止めたことにならず、そのグラブを受け取ってもアウトにならないという解釈をとっていましたが、2007年プロ・アマ合同野球規則委員会前で前記のように解釈が改められました。

このようなことから、野手は、ボールがはさまったグラブを持って、走者または塁に触球することもできます。



それでは、次のケースについて、考えてみましょう。

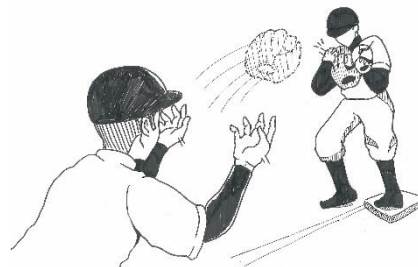
投手は、グラブにはさまり抜けなくなったので、仕方なくグラブごと1塁手へトスしました。

1塁手は、そのグラブを両腕と胸とで抱きかかえるように捕りました。打者走者の1塁への到達よりも早くボールの入ったグラブを捕ったようですが、判定がアウトになるのでしょうか。

このケースは、アウトになりません。

定義15にあるように、「ボールを手またはグラブでしっかりと受け止め、かつ確実につかむ行為」にならないからです。

グラブを受け取る場合も、ボールの入ったグラブを自身の手やグラブでしっかりとつかんでいることが必要になります。



なお、今回紹介した事例で感じたことは、選手が使っているグラブ自体に問題がなかったかどうかということです。グラブのしめひもが甘く、ウェブ（網）が緩んではいなかったでしょうか。

また、グラブのしめひもが長すぎる場合も散見されます。「高校野球用具の使用制限」では、親指の長さ程度に調整することが求められています。

試合の前には、選手が使用するグラブやミットのほか、試合で使用する用具の点検も行っておきましょう。

参考として、試合開始前の用具点検で不備が多い事項について、下記のとおり整理しましたので、試合の前日には必ず確認しておいてください。

- ① バット
  - ・ 亀裂、ひび割れ、曲がり、ひずみなどがないか。
  - ・ 先端、テーパ部、グリップ部分の異常がないか。
- ② ヘルメット
  - ・ 亀裂、ひび割れがないか。
  - ・ 「製品安全協会のSGマーク」は貼付されているか。
  - ・ 耳部分のクッション材に異常や剥がれがないか。
- ③ 捕手用具
  - ・ レガースに亀裂、ひび割れがないか。
  - ・ マスクに「製品安全協会のSGマーク」は貼付されているか。
  - ・ マスクやプロテクターのひもに緩みがないか。
  - ・ ファウルカップは用意されているか。
- ④ その他
  - ・ 負傷箇所防護のためのテーピングは、事前に審判委員に申し出て許可を得ることで使用ができるが、目立たない肌色に近いものとなっているため、使用する場合には事前に用意しておくこと。

※指導者の方は、野球用具の点検は、選手の怪我を防ぐためであることを十分に理解していただき、日頃から確実に実施するようにしてください。

表題デザイン・イラスト協力：兵庫県立姫路工業高等学校デザイン科

表題デザイン：中川 早紀さん（3年）

イラスト：日下部 心咲さん（3年） 桂 楓杏さん（3年）